



19301-XK5-00N0 LOW TEMP THERMOSTAT

for HONDA INTEGRA TYPE R/CIVIC TYPE R

取 付 ・ 取 扱 説 明 書

この度は、無限製品をお買いあげ頂きありがとうございます。
安全にドライビングを楽しんでいただくために、以下の注意点を正しくご理解の上、
ご使用下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

【ご注意】

- ・ 取付は水温が下がった状態で行なってください。水温が高い状態では、大変危険ですので、絶対に作業しないでください。
- ・ 取り付け前に適応車種の確認を行ってください。

適応車種

INTEGRA TYPE R(DC5)、 CIVIC TYPE R(EP3)

- ・ 純正パーツの取付・取り外しは、サービスマニュアルに従って作業を行ってください。
- ・ 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 無限 / 営業部

TEL 048-462-3135

《営業時間 9:00 ~ 18:00》

FAX 048-462-3121

【構成部品表】

	QTY.
①	①サーモスタットASSY 1
②	②ラバーシール 1 (組み付け済)
③	③取付・取扱説明書 1

取付・
取扱説明書

【必要工具】

- ・ ソケットレンチ(10mm)
- ・ プライヤー
- ・ 受け皿
- ・ ウェス

サーモスタットの交換

※ 純正パーツの取り外し、取り付けは、サービスマニュアルをよく読んでから作業すること。

※ 電装品や塗装面に冷却水がかからないようカバー等をする事。

- ① エンジンが冷えていることを確認し、ラジエターキャップをゆるめて圧力を下げ、キャップを取り外す。

警告 水温が高いときキャップを外すと、冷却水が吹き出し危険である。水温が下がってからウエスでキャップを包み、静かに開けること。

- ② ラジエター、エンジン下部に受け皿を置き、ドレンコックを緩めてラジエター、エンジン内の冷却水を抜き取る。抜き取ったらコックを締め付ける。

注意 冷却水の抜き取りは各車のサービスマニュアルに従うこと。

- ③ ロアホース、ボルトを外して、サーモスタットを取り外す。

6 × 1.0mm
トルク 9.8N・m
{1.0kgf・m}

Oリング
分解時交換

サーモスタット

ロア ホース

ドレンコック

- ④ サーモスタットケース等に異物が付着していないか確認し、ローテンプサーモスタットを取り付け、ボルトを規定トルクで締め付ける。

- ⑤ ロアホースを取り付け、冷却水をラジエターのアップタンクいっぱいまで注入する。エンジンを始動し、エア抜きを行なう。

注意 エア抜きの方法は各車のサービスマニュアルに従うこと。

- ⑥ エア抜きが終わったらラジエターキャップを締め、1500rpm程度でアイドリングし、冷却水の漏れ、水温の上昇を確認しながら、サーモスタットが開いて液面が下がるのを確認する。

- ⑦ ラジエターの口元の液面を見ながら冷却水を補充し、液面が下がらなくなるまで⑤～⑥を繰り返す。リザーバタンクにはMAX（上限）レベルまで冷却水を補充する。

- ⑧ 液面が下がらなくなったらラジエターキャップを取り付ける。

確認

- ・取り付け後、最低30分はアイドリングし、水温を確認しながら冷却水の循環を確認する。
- ・取り付け後3～4日したら、冷却水の量が適正かどうか確認する。